

2022年3月期 第3四半期 決算説明会

ソフトバンク株式会社

2022年2月3日

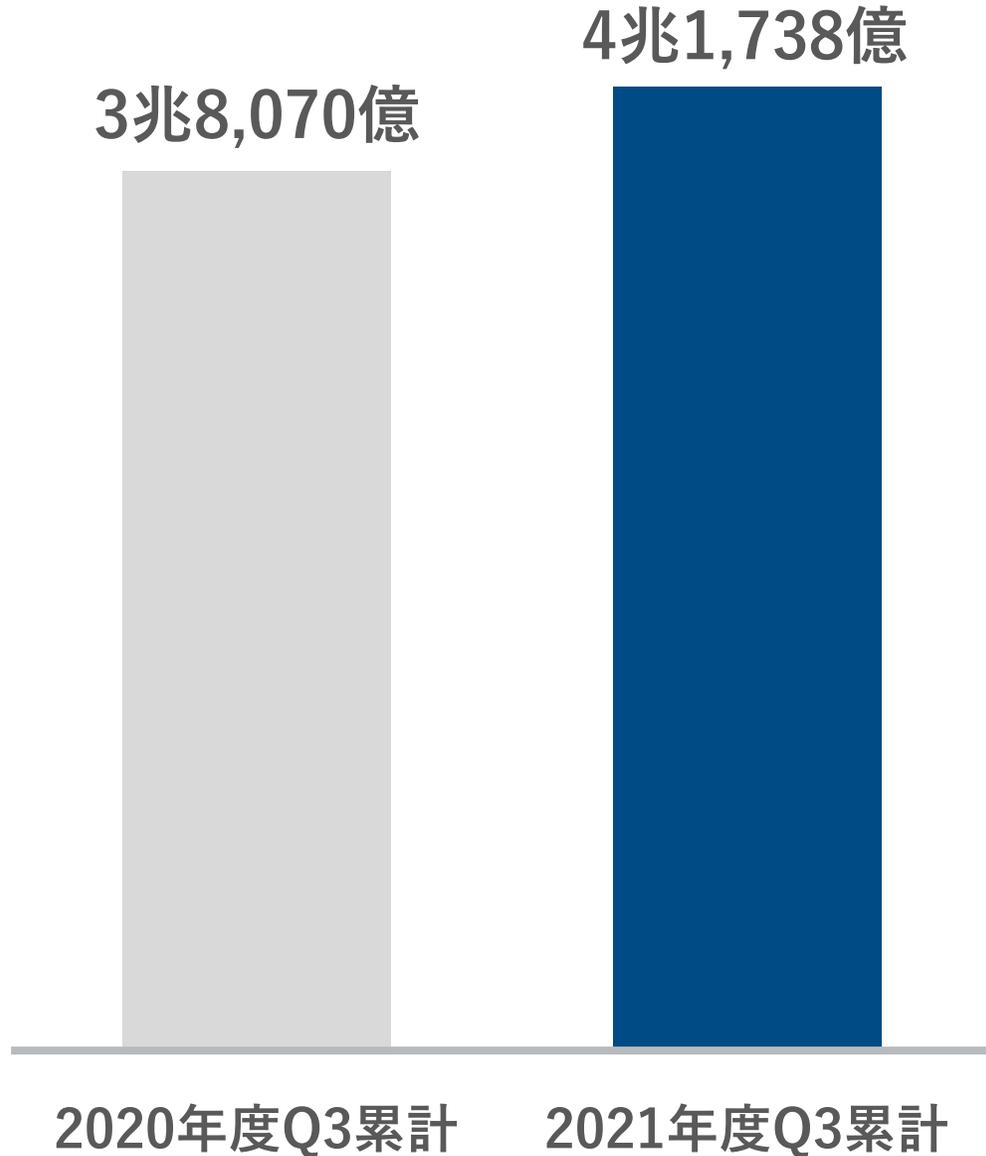
免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

2022年3月期 第3 四半期 連結業績

売上高

[円]

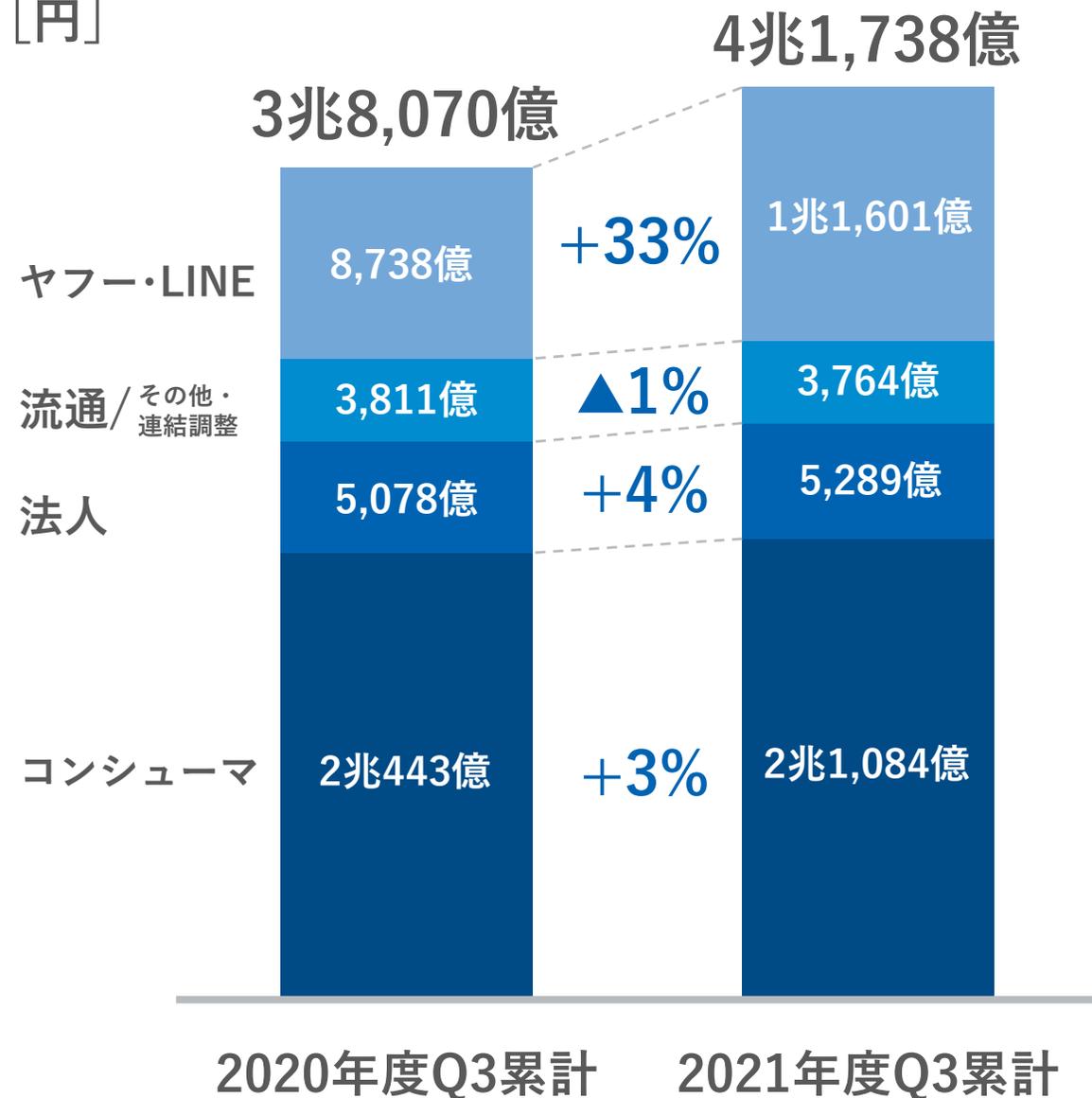


10%増収

(注) 本資料において、増減について特に記載のない場合は前年同期比を指します。また端数処理について、特に記載のない場合は表示単位の小数点第一位を四捨五入しています。

売上高 セグメント別

[円]



流通事業を除き
増収

営業利益

[円]

8,416億

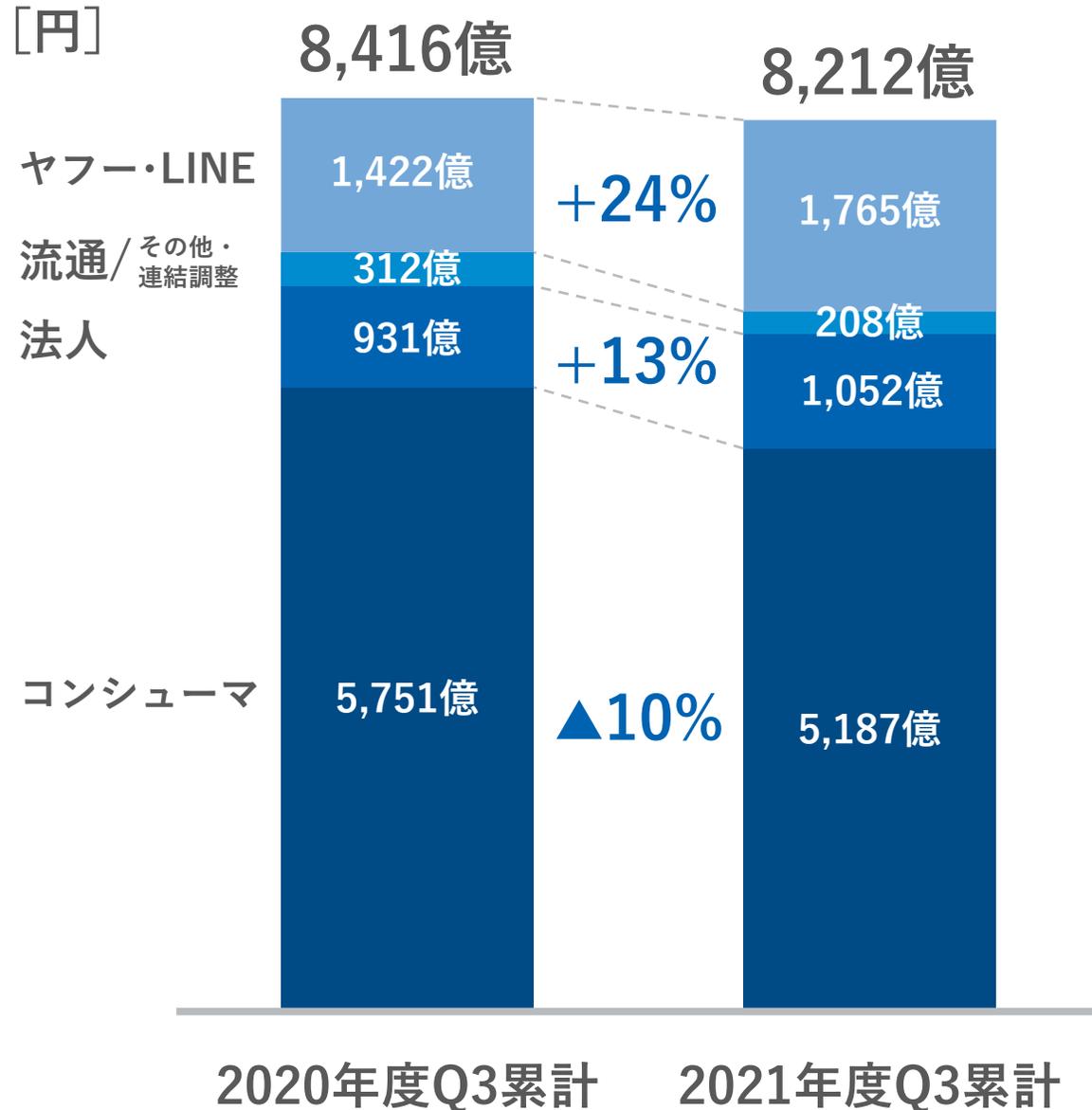
8,212億

2020年度Q3累計

2021年度Q3累計

2%減益

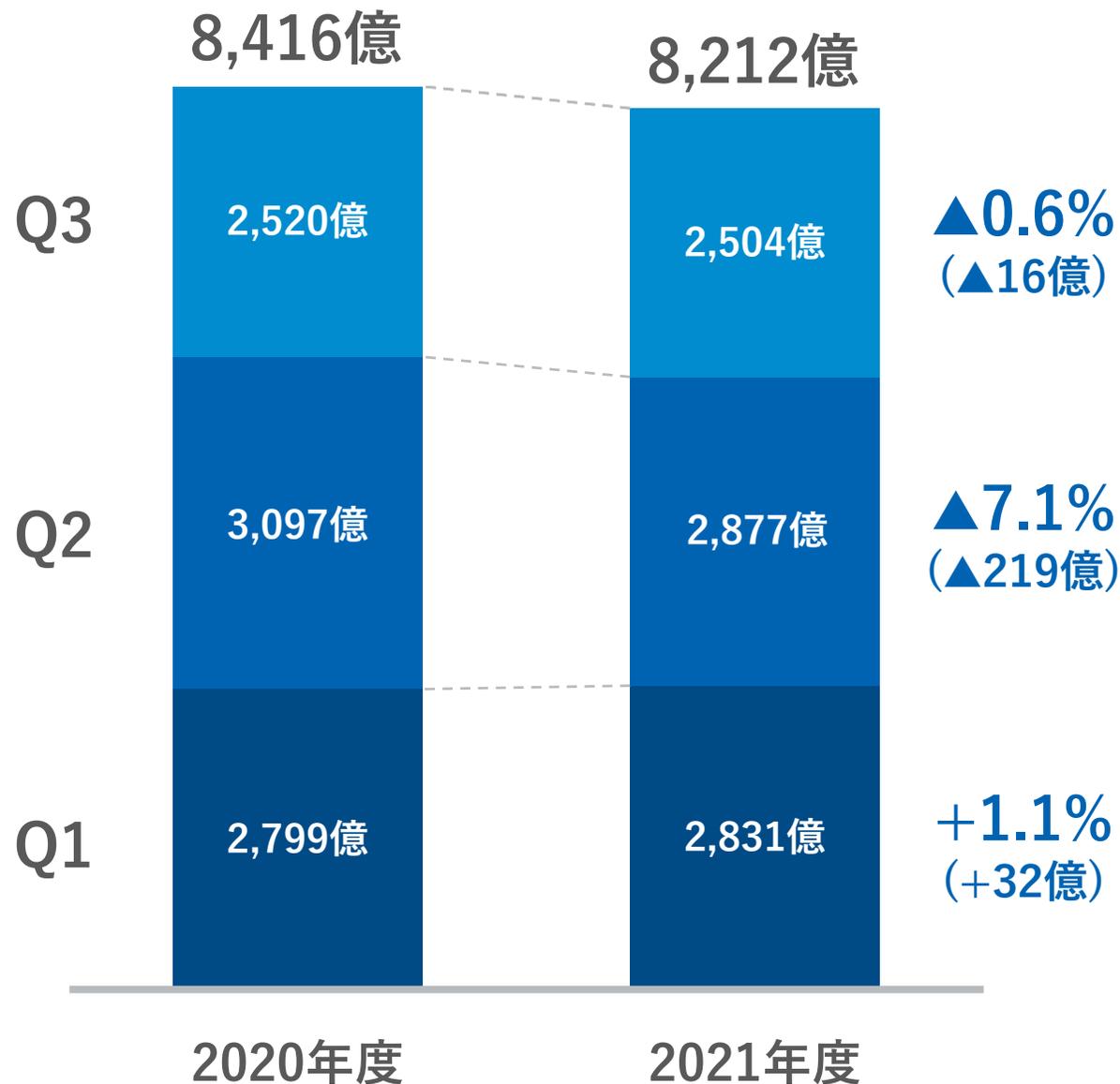
営業利益 セグメント別



通信料値下げ影響の一方
法人とヤフー・LINEが
順調に増益

営業利益 四半期別

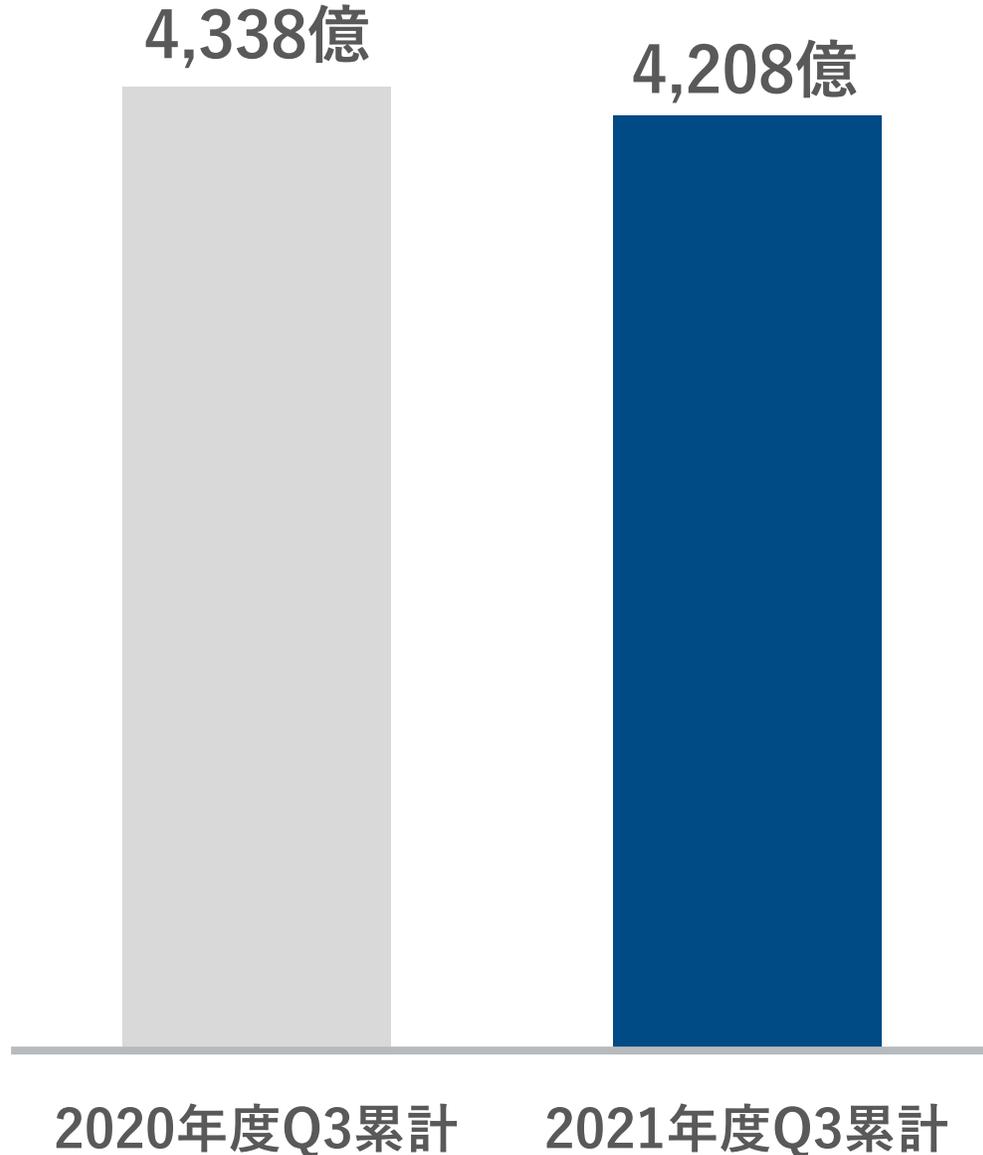
[円]



第3四半期は 減益幅が縮小

純利益

[円]



3%減益

出前館の減損影響▲41億円

(定義) 純利益：親会社の所有者に帰属する純利益 (注) 当社子会社であるZホールディングスは、保有する(株)出前館の株価推移に鑑み、同社に係る持分法簿価を回収可能価額まで減額した結果、当第3四半期に約184億円の減損損失を認識しました。当社はそのうちZホールディングスに対する当社持分相当の金額を計上しています。

2021年度 第3四半期 連結業績

[円]

	2020年度 Q3累計	2021年度 Q3累計	増減	増減率
売上高	3兆8,070億	4兆1,738億	+3,668億	+10%
営業利益	8,416億	8,212億	▲204億	▲2%
純利益	4,338億	4,208億	▲129億	▲3%

2021年度 通期業績予想 進捗率

[円]

	2021年度Q3累計 実績	2021年度 通期 予想	進捗率
売上高	4兆1,738億	5兆5,000億	76%
営業利益	8,212億	9,750億	84%
純利益	4,208億	5,000億	84%

2021年度 セグメント別 営業利益 進捗率

[円]

	2021年度 Q3累計 実績	2021年度 通期 予想	進捗率
コンシューマ事業	5,187億	6,420億	81%
法人事業	1,052億	1,280億	82%
流通事業	183億	225億	81%
ヤフー・LINE事業 +その他	1,790億	1,825億	98%
全社計	8,212億	9,750億	84%

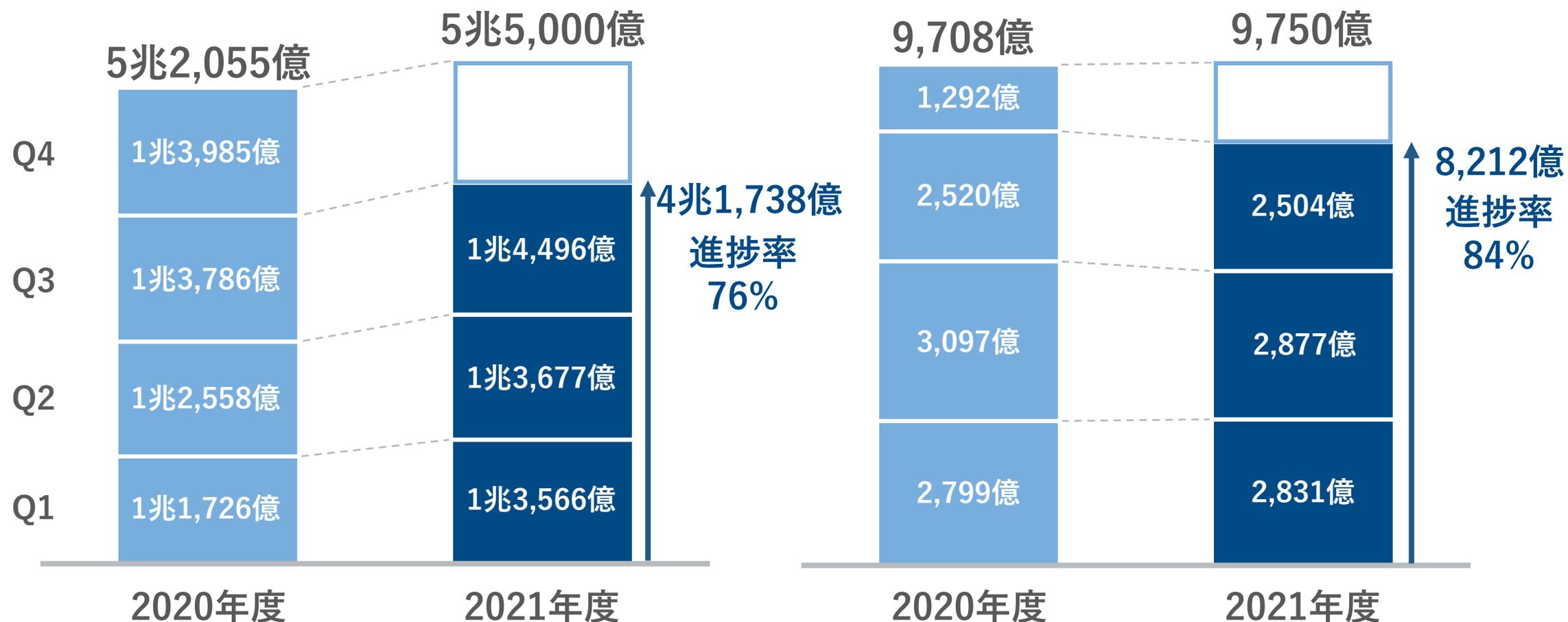
通期業績予想

[円]

過去最高益を達成見込み

売上高

営業利益

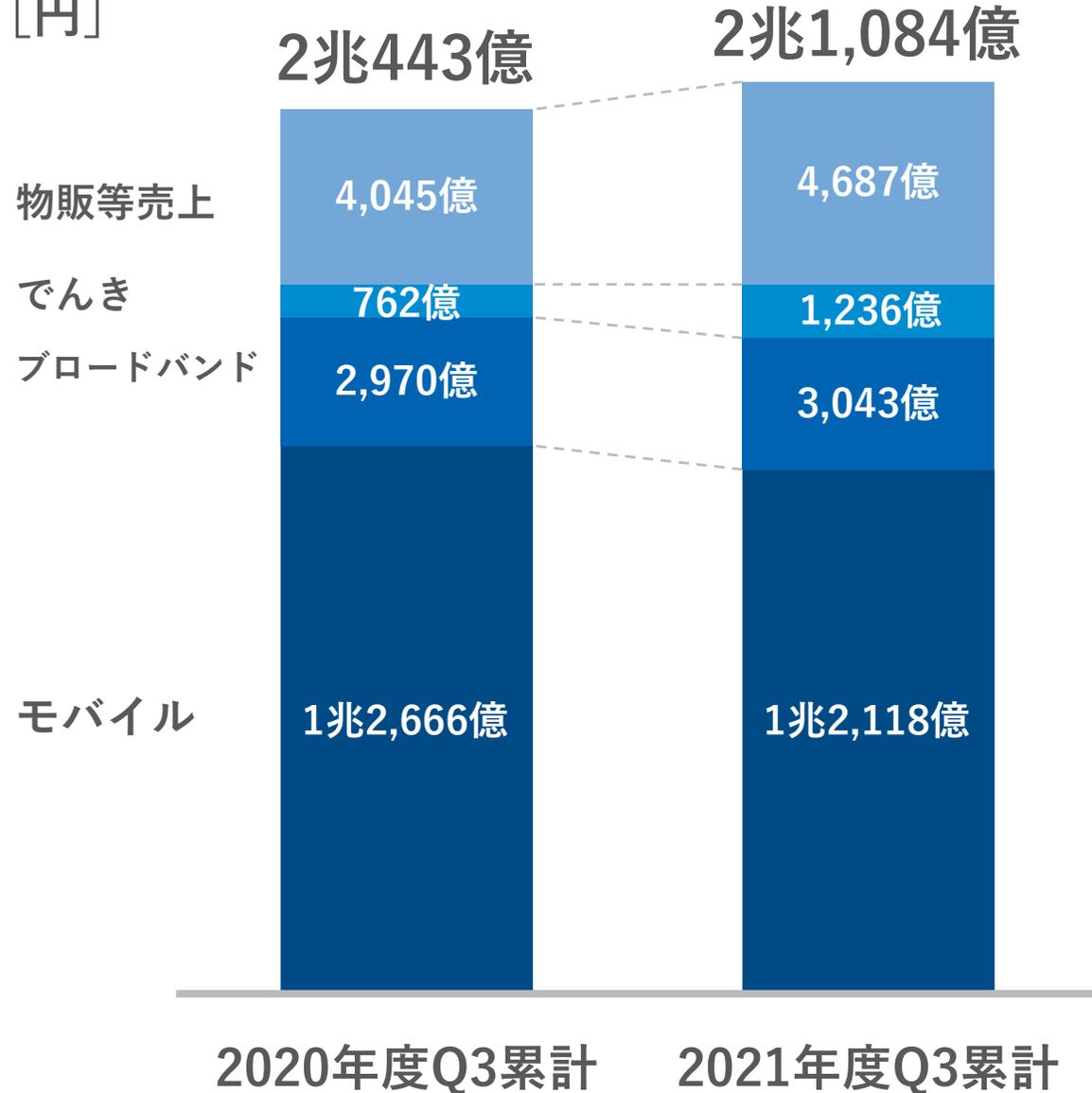


コンシューマ 事業



コンシューマ事業 売上高

[円]



通信料値下げの影響を受けるも
携帯端末の販売回復により

3%増収

コンシューマ事業 営業利益

[円]

5,751億

5,187億

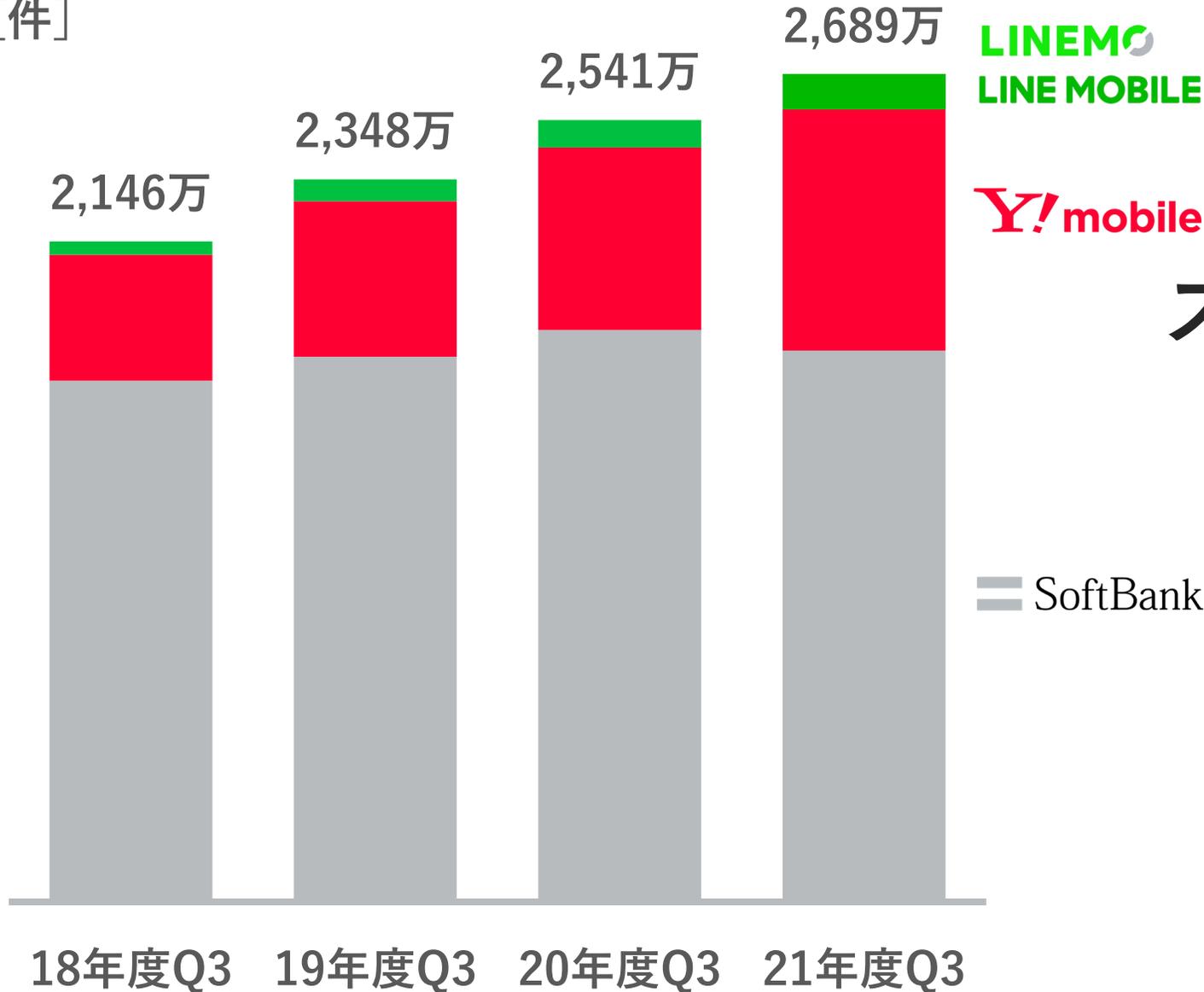
2020年度Q3累計

2021年度Q3累計

通信料値下げ影響などにより
前年比で減益

スマートフォン 累計契約数

[件]



スマートフォン契約数

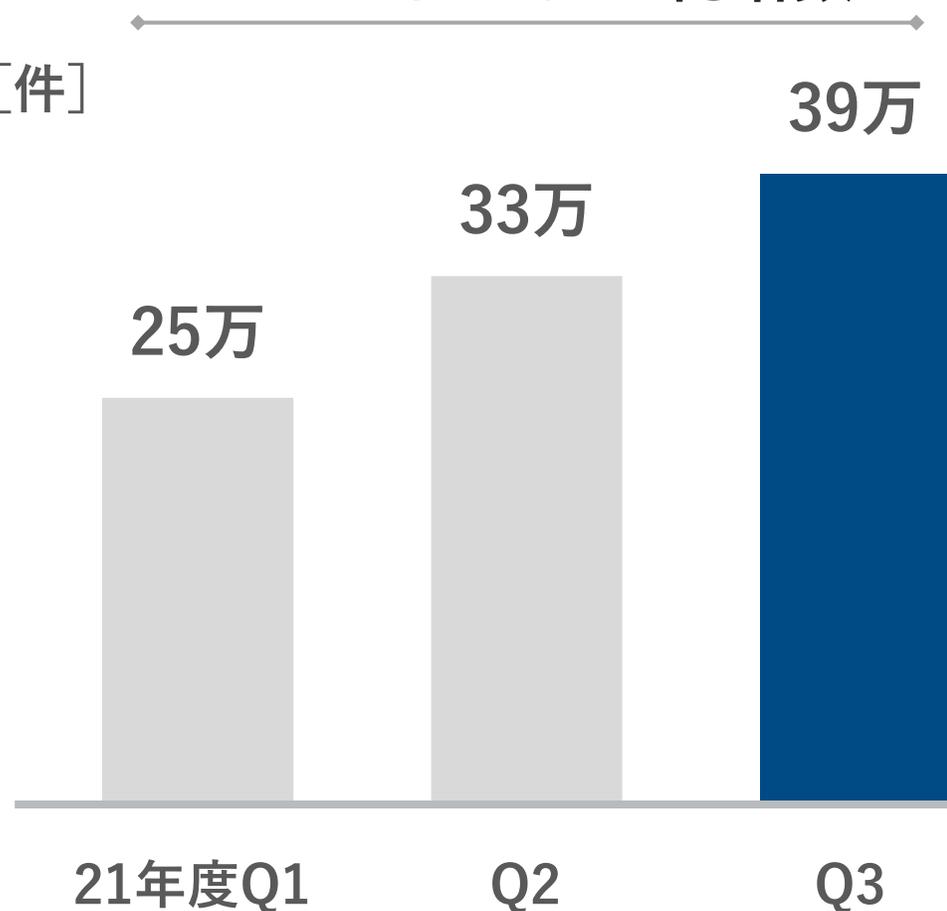
6%増

モバイル契約 純増数

純増数が順調に回復

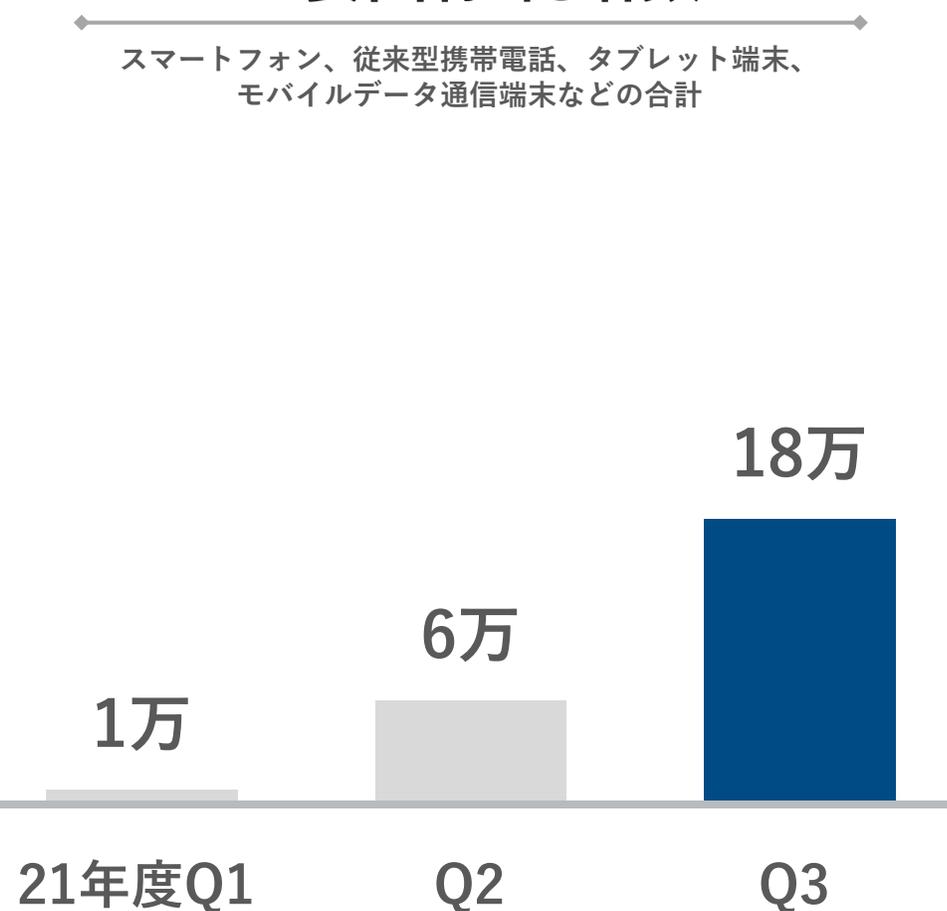
スマートフォン 純増数

[件]



主要回線 純増数

スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット端末、
モバイルデータ通信端末などの合計



モバイル

モバイルの競争力向上



グループ

グループサービスの成長促進

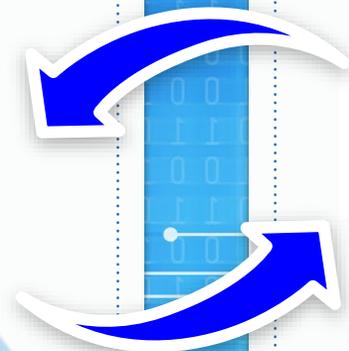
YAHOO!
JAPAN

PayPay

LINE

ZOZOTOWN

ASKUL



グループサービスとの連携を強化

PayPayクーポン

2021年10月～



ソフトバンクユーザー向け
PayPayクーポン開始

LINE MUSIC

2021年11月～



ソフトバンク、
ワイモバイルユーザーは



当社ユーザー限定
6か月無料キャンペーン開始

PayPayカード

2021年12月～



当社モバイルショップ店頭で
PayPayカード獲得開始

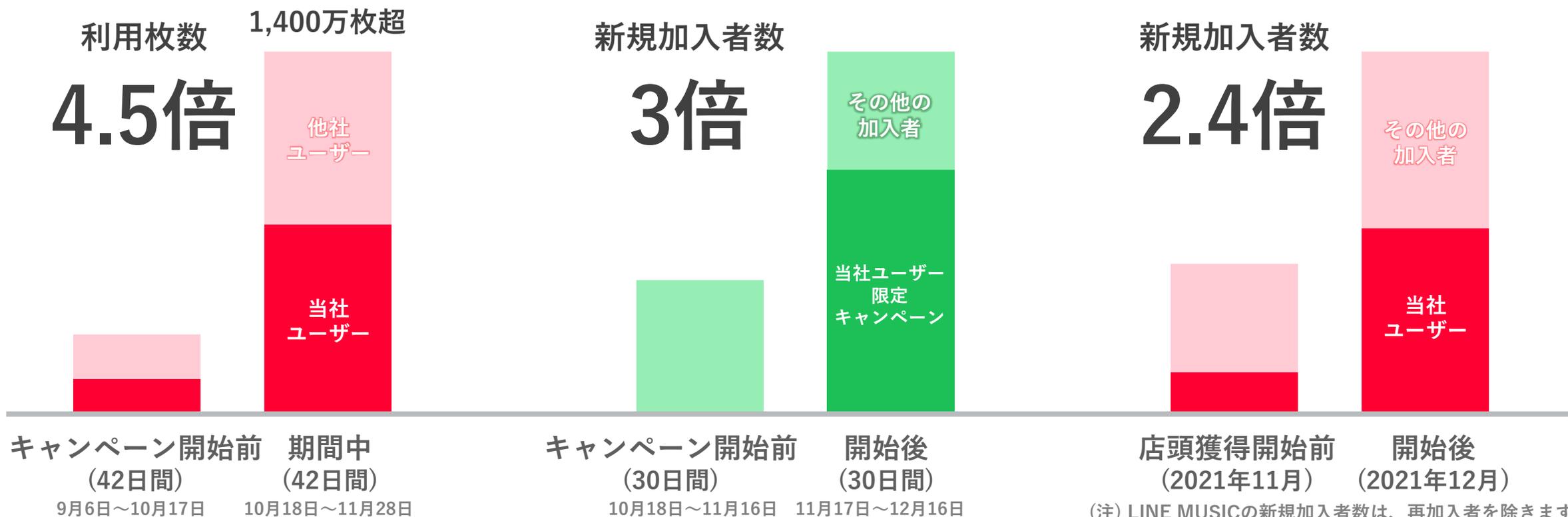
グループサービス実績

当社モバイルとの連携で各サービスが順調に拡大

PayPayクーポン

LINE MUSIC

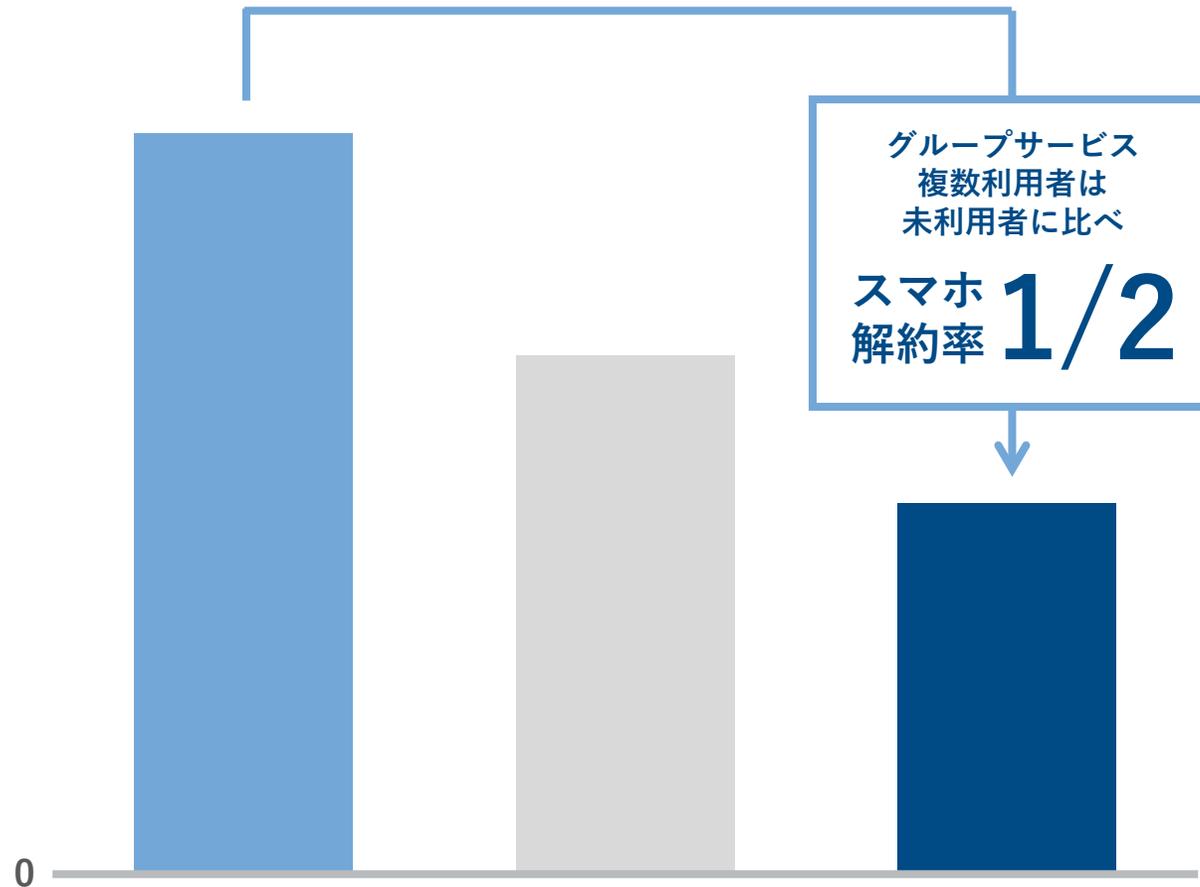
PayPayカード



スマートフォン解約率 (グループサービス利用状況別)

[%]

グループサービスのうち		
利用無し	1つのみ利用	複数利用



グループサービスの利用により
解約率が低減

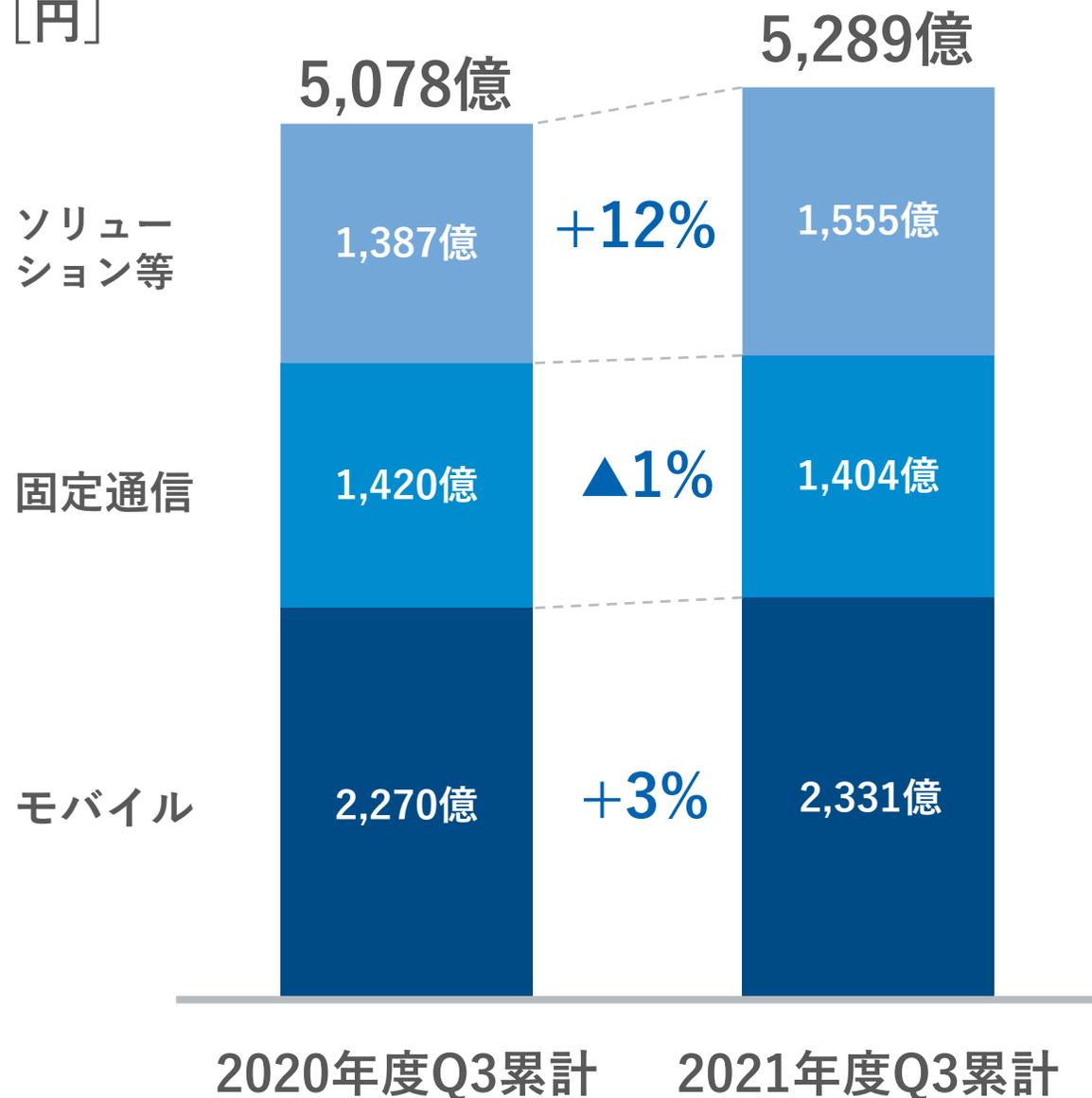
(注)「ソフトバンク」ブランドおよび「ワイモバイル」における2021年度Q3のスマートフォン解約率です。MNP(携帯電話番号ポータビリティ)による解約と純解約の合計をもとに算出しています。当社モバイルブランド内での転入・転出および、法人契約は除きます。またグループサービス利用状況は、当社グループのeコマース(「Yahoo!ショッピング」と「PayPayモール」のいずれか)および、決済サービス「PayPay」の利用実績をもとに集計しています。

法人事業



法人事業 売上高

[円]

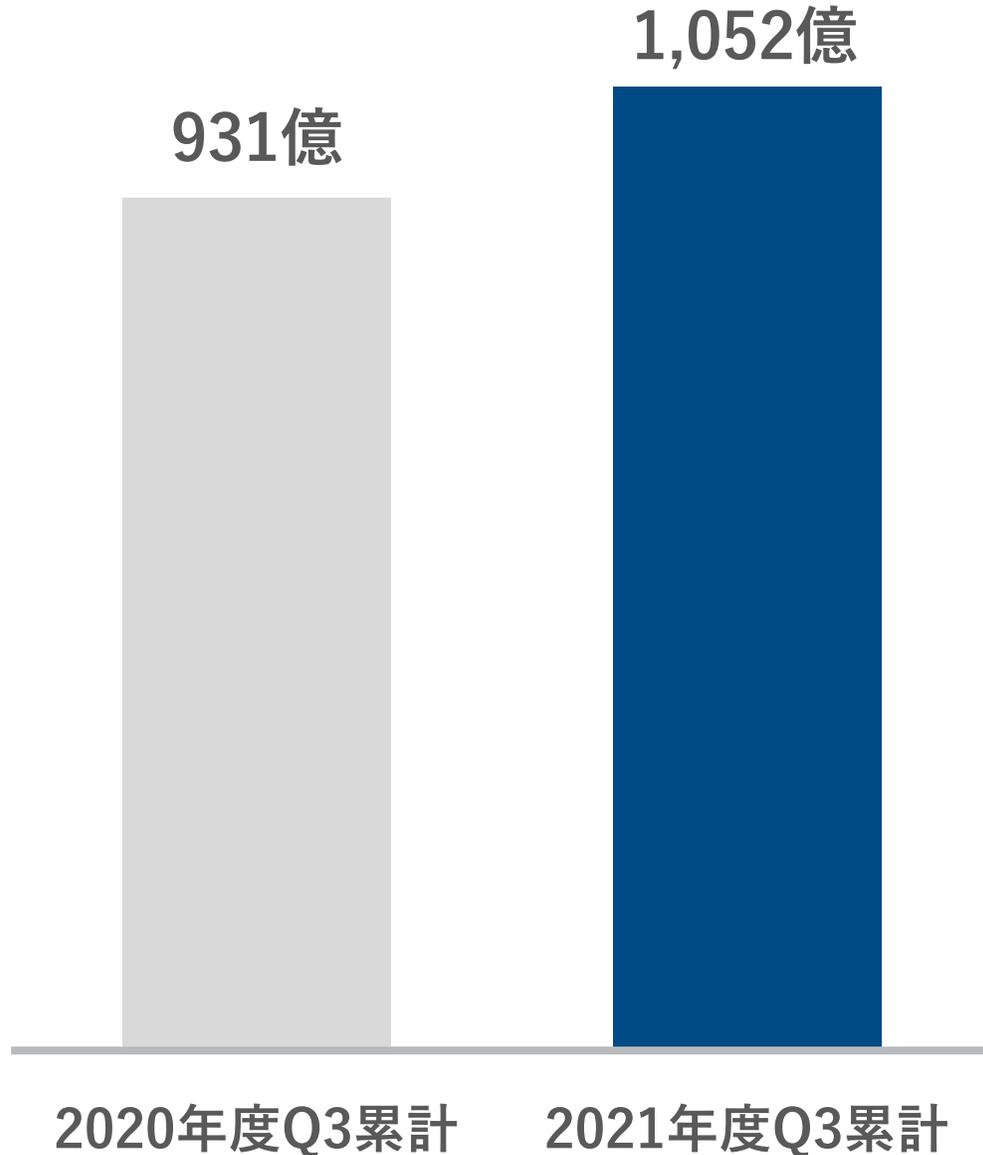


4%増収

ソリューション等が12%増

法人事業 営業利益

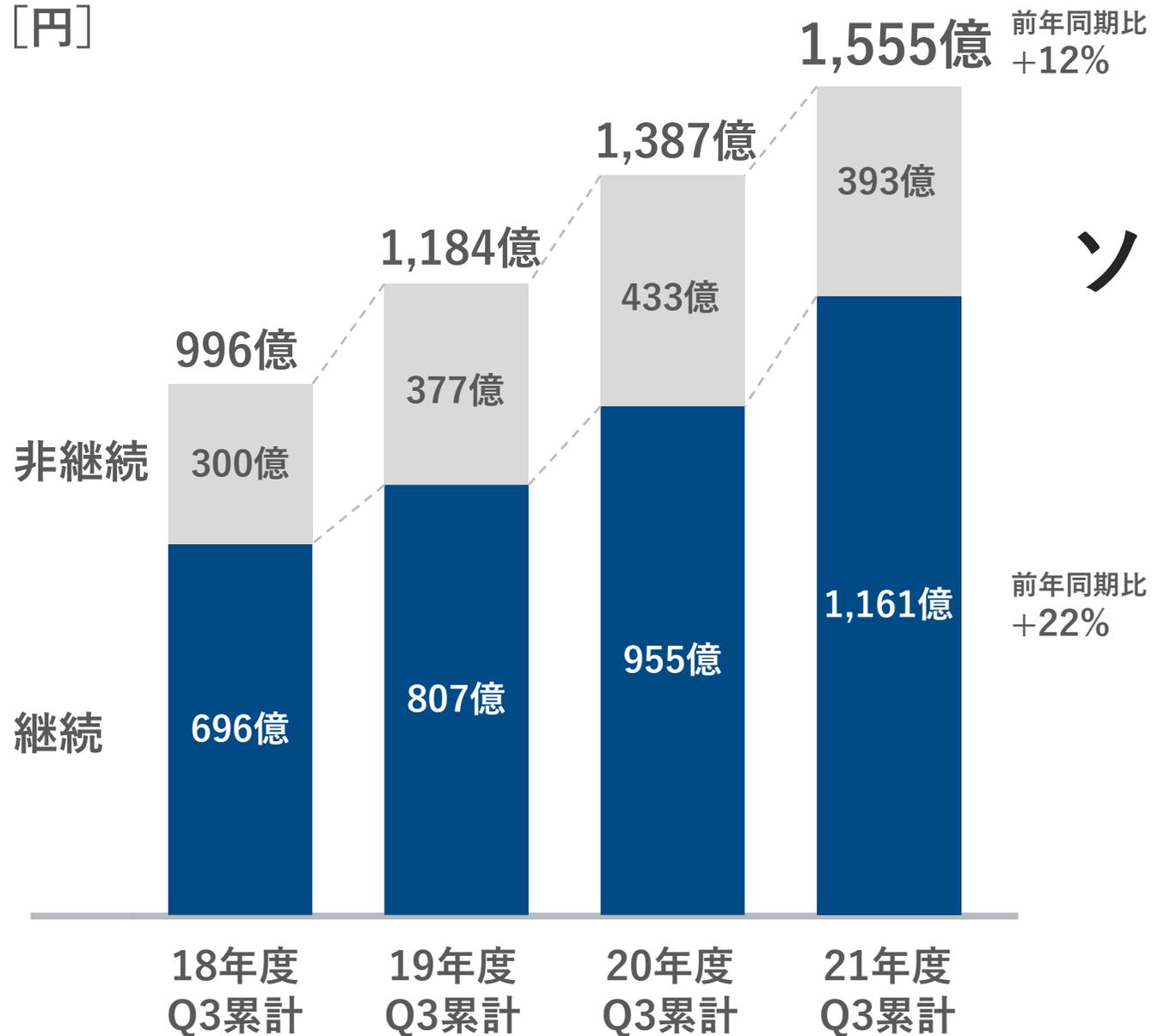
[円]



13%増益

法人事業 ソリューション等 売上高

[円]



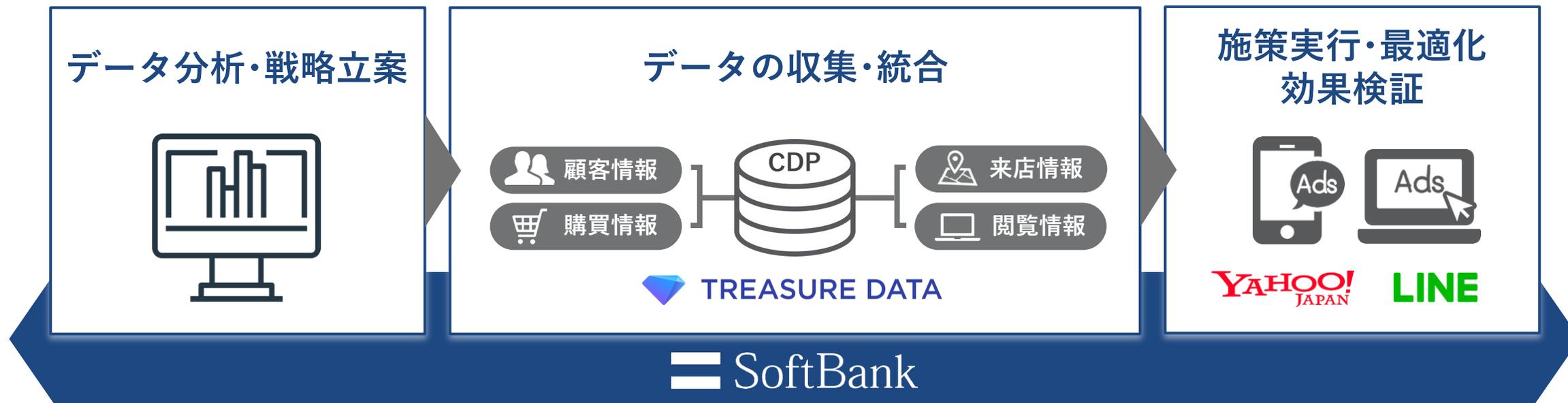
ソリューション等継続収入

22%増

前年同期比
+22%

前年同期比

デジタルマーケティングが210%に成長 (Q3累計)



データの収集・統合・利活用を一気通貫でサポート

法人顧客



前年同期比

セキュリティビジネスが142%に成長 (Q3累計)

クラウド
セキュリティ



認証セキュリティ



ネットワーク
セキュリティ



デバイス
セキュリティ



内部不正監視



セキュリティ監視・運用代行

(24時間365日対応)



セキュリティ対策をトータルサポート

法人顧客



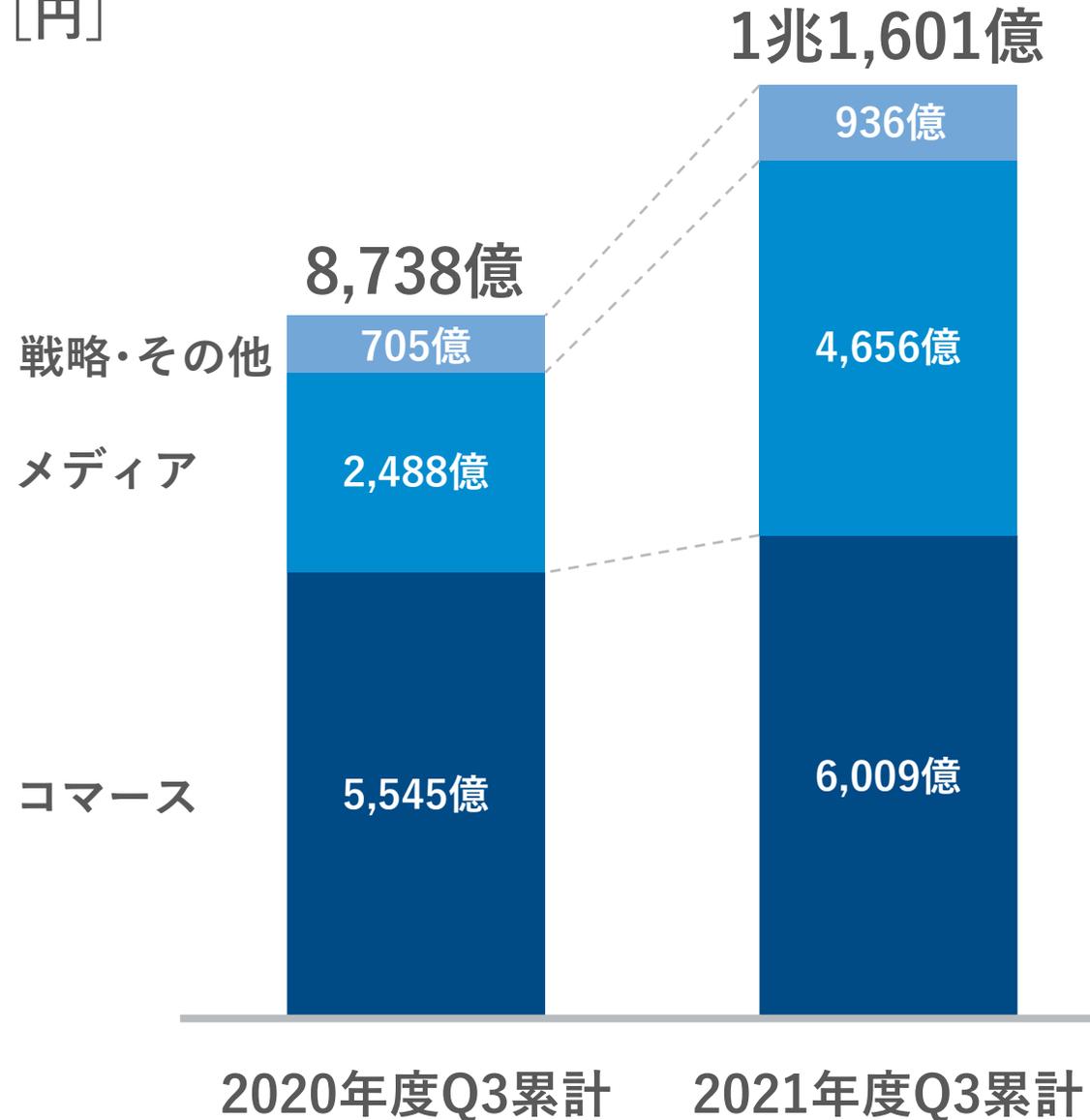
YAHOO! JAPAN

LINE



ヤフー・LINE事業 売上高

[円]

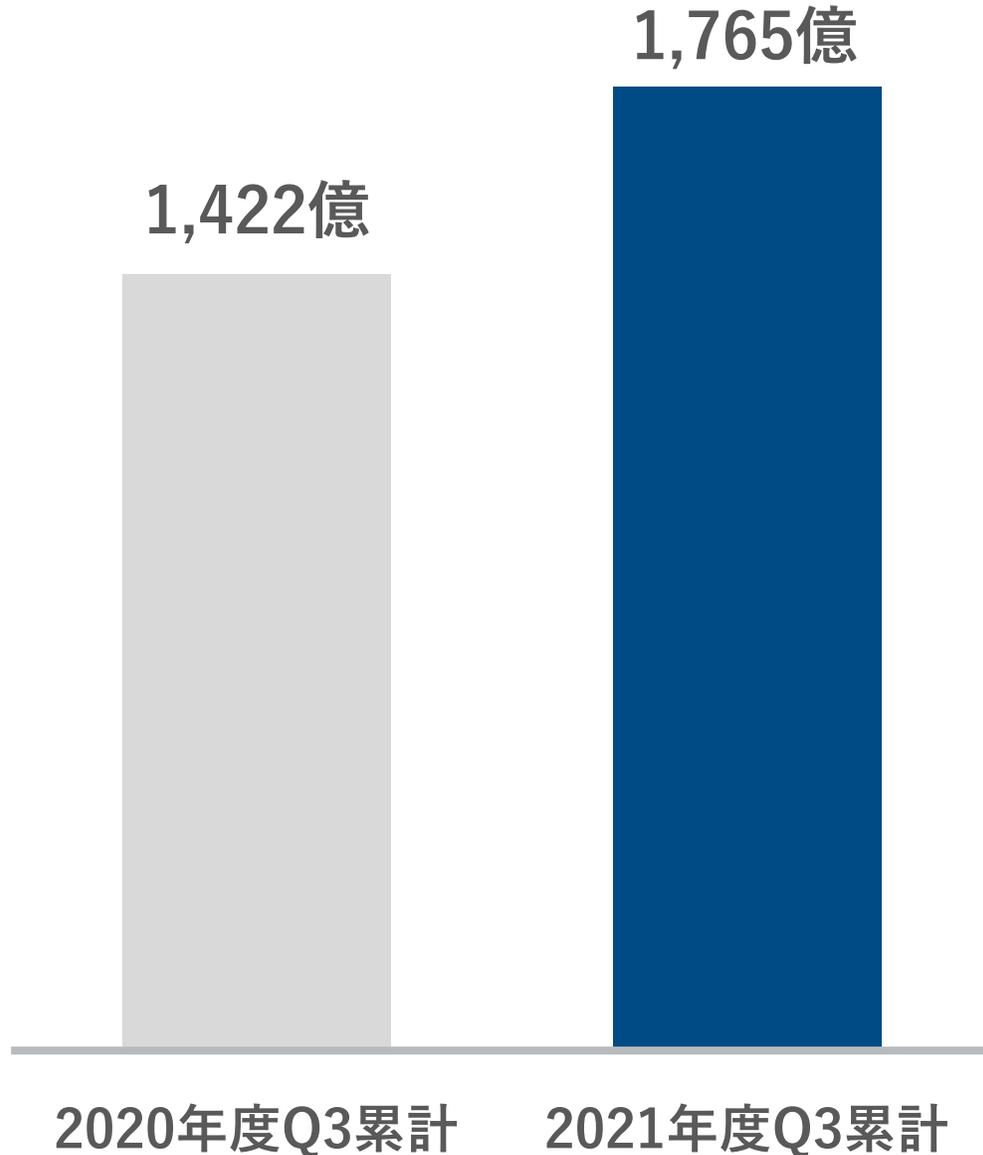


LINEの子会社化および
メディア事業の好調により

33%増収

ヤフー・LINE事業 営業利益

[円]



24%増益

ヤフー・LINE事業 物販eコマース取扱高

[円]

2兆1,797億

1兆9,513億

1兆5,362億

13,978億

物販eコマース取扱高

12%増

18年度
Q3累計

19年度
Q3累計

20年度
Q3累計

21年度
Q3累計

(定義) 物販eコマース取扱高：リユース事業の取扱高、ショッピング事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクル株式会社におけるBtoB事業インターネット経由売上収益(20日締め)を含みます。
(注) Zホールディングス株式会社の開示基準に従い、億円単位で端数の切り捨てを行っています。 31

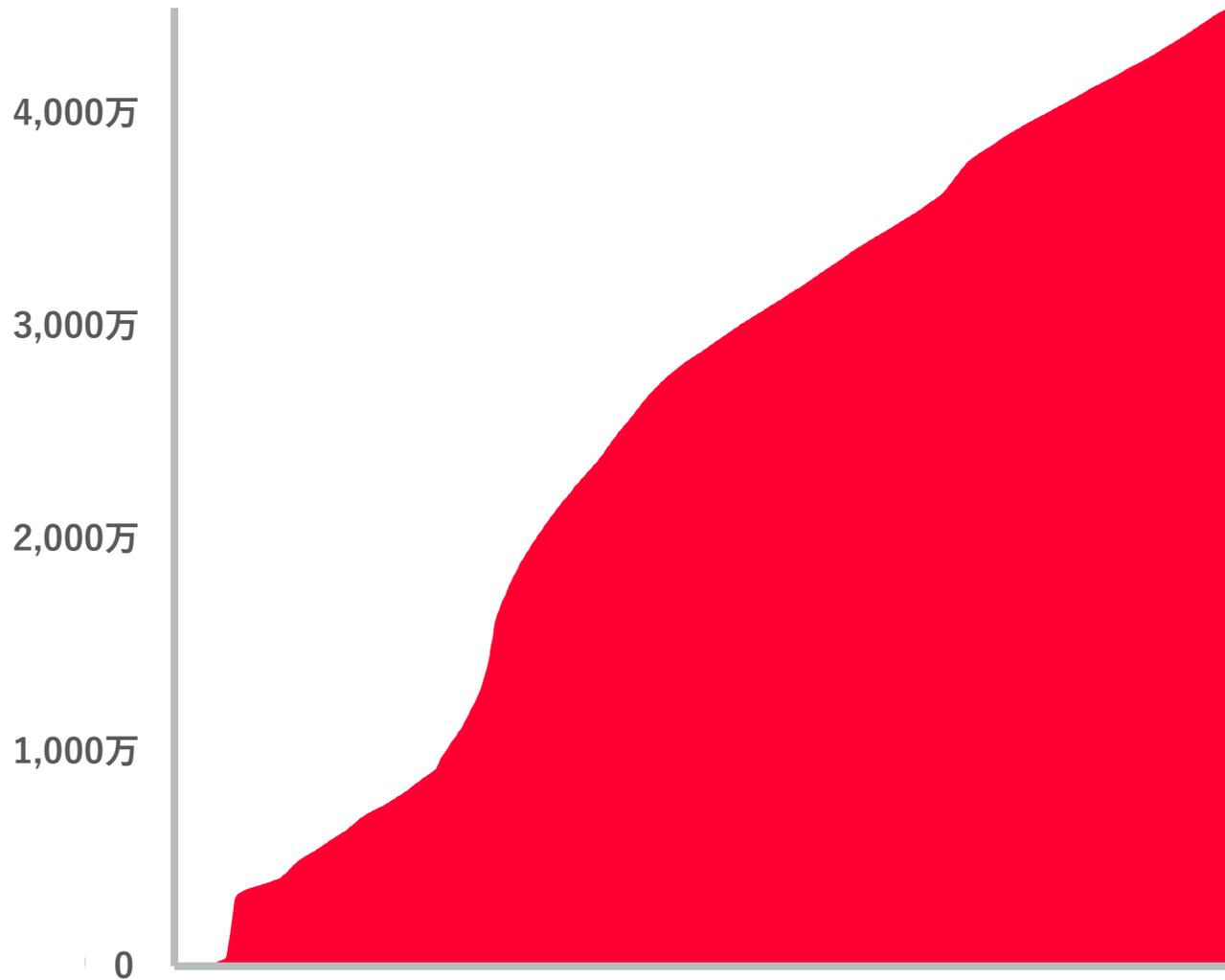


スマホ決済サービス 「PayPay」

「PayPay」登録ユーザー数 (累計)



[人]



2018年10月

2022年1月

ユーザー数
4,500万人超

(2022年1月)

(出所) PayPay株式会社 (注) 期間：2018年10月5日～2022年1月22日
(定義) 登録ユーザー数：アカウント登録を行ったユーザー数

「PayPay」決済回数

26.3億回

14.2億回

4.3億回

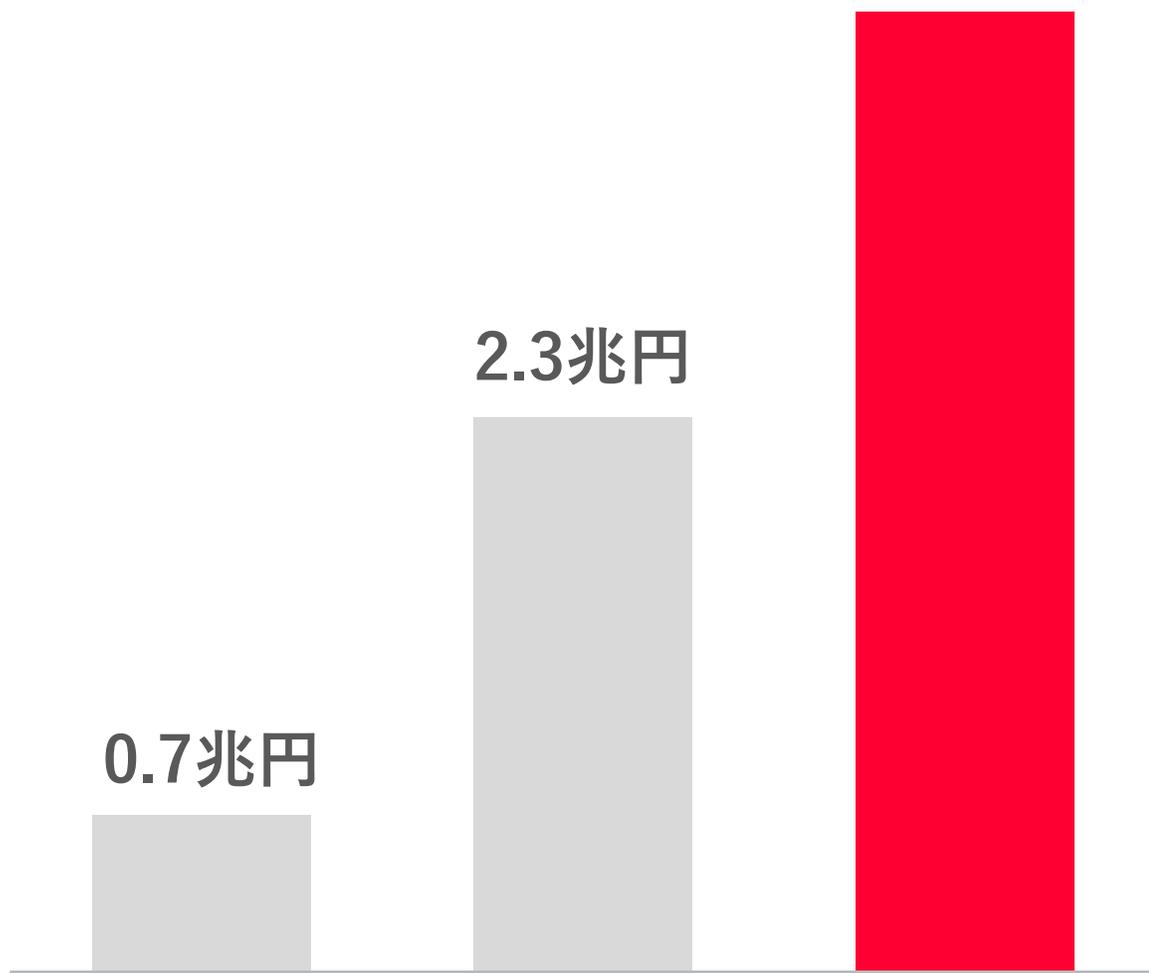
2019年度Q3累計 2020年度Q3累計 2021年度Q3累計

決済回数(Q3累計)
26.3億回

前年同期比 85%増

「PayPay」決済取扱高 (GMV)

3.9兆円



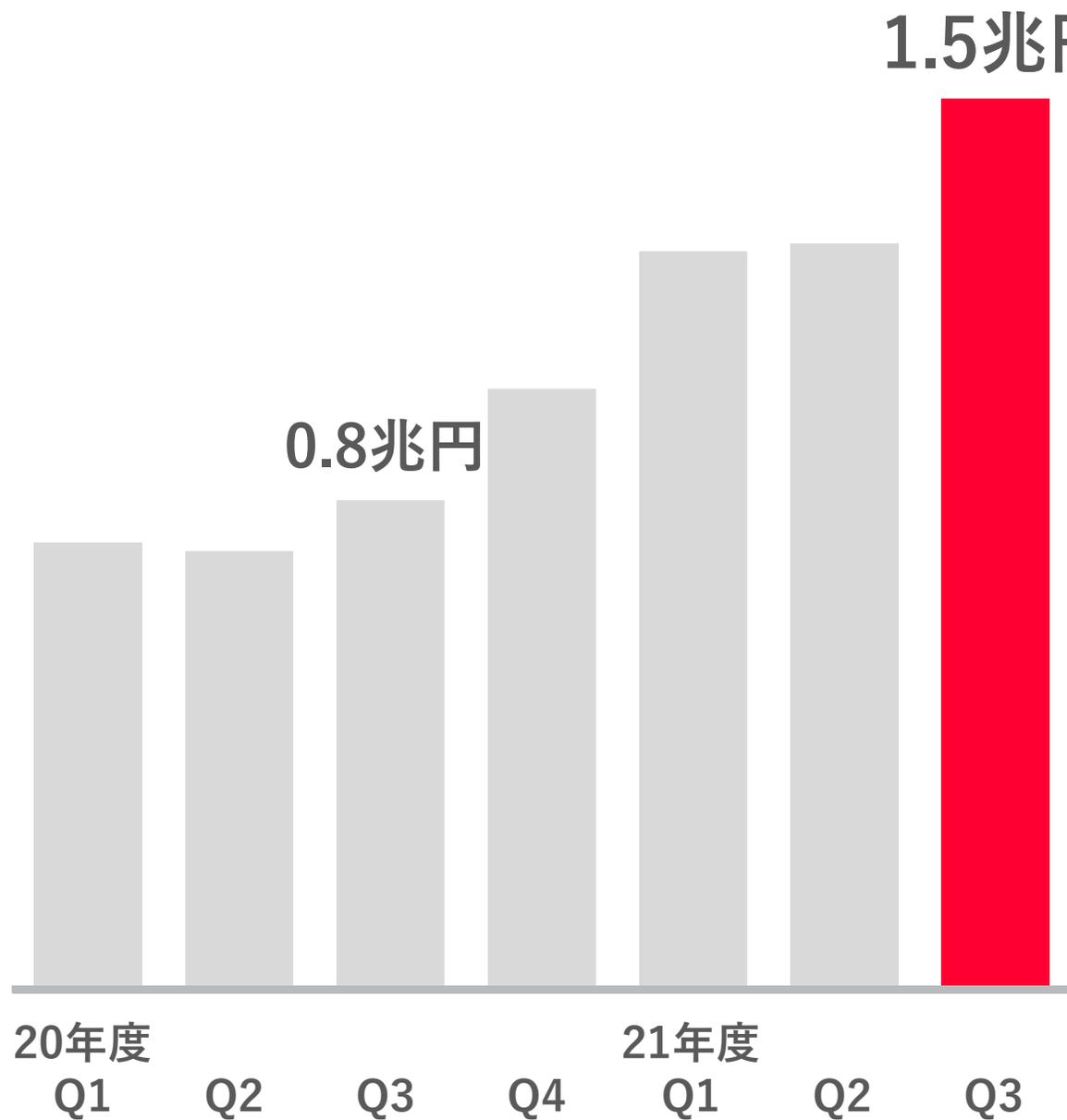
決済取扱高(Q3累計)

3.9兆円

前年同期比 **73%増**

2019年度Q3累計 2020年度Q3累計 2021年度Q3累計

「PayPay」決済取扱高 (GMV)



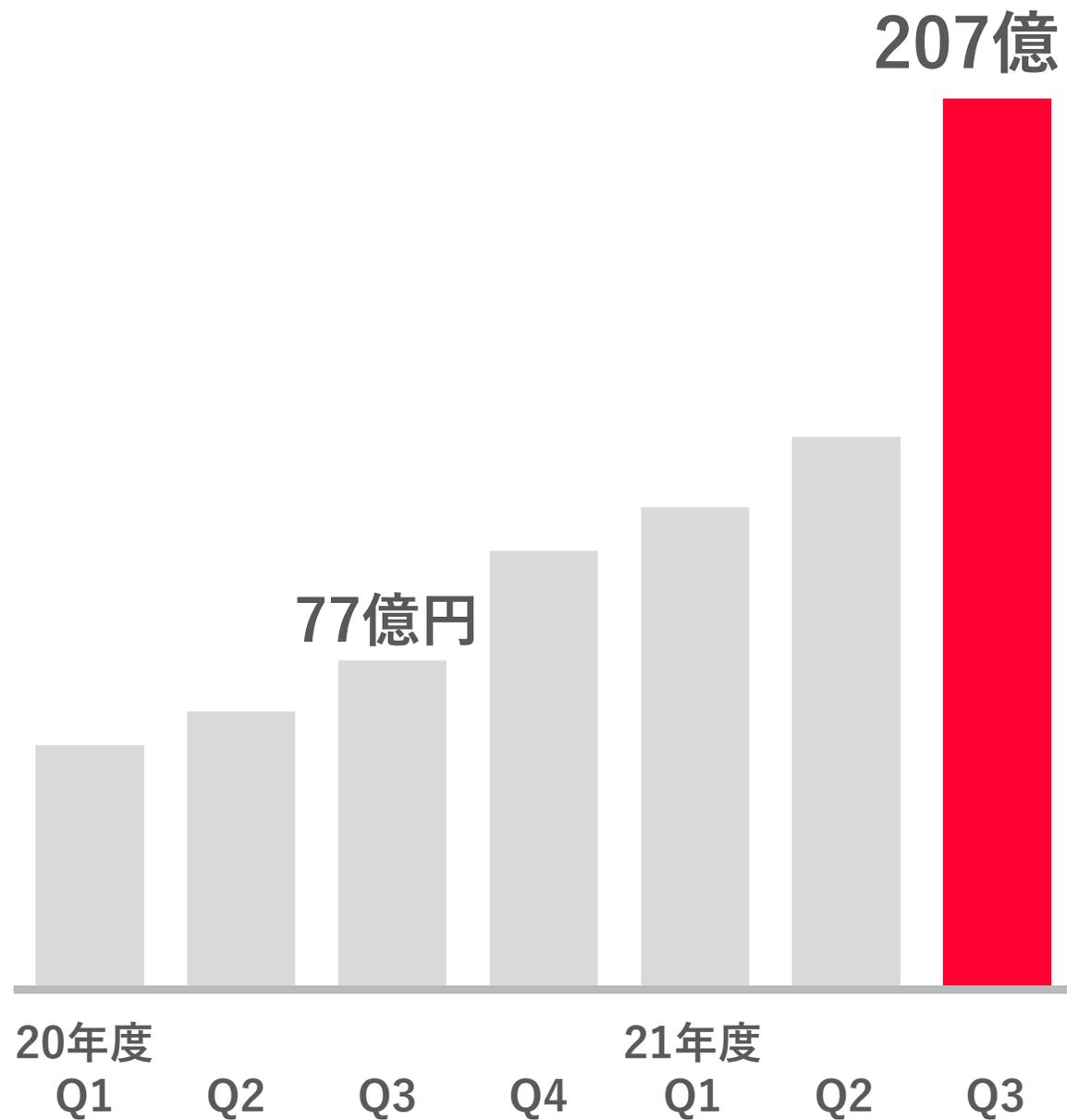
2021年10月～
中小店舗決済手数料
有料化

決済取扱高(四半期)

1.5兆円

前年同期比 82%増

「PayPay」売上高



2021年10月～
中小店舗決済手数料
有料化

売上高(四半期)

207億円

前年同期比 2.7倍

「PayPayあと払い」提供開始



当月に利用した金額を
翌月まとめてお支払い



2月1日より
「あと払い」
機能追加



PayPayあと払い

決済回数・決済単価の向上を図り
さらなる利用拡大へ

ESG



初の^{*1} ESG債発行により 300億円を調達

持続可能な社会の実現に貢献する
HAPS事業へ資金を充当



(*1) ソフトバンク(株)単体として (注) サステナビリティボンド：環境および社会課題の解決に資するプロジェクトに資金使途を限定した債券、
HAPS：成層圏から広域エリアに安定した通信ネットワークを提供する成層圏通信プラットフォーム (High Altitude Platform Station)

「日経SDGs経営大賞」社会価値賞を 2021年11月に受賞



世界的なESG投資インデックスに 多数選出

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good

**2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数**



FTSE Blossom
Japan

**2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)**

(注) Dow Jones Sustainability Indexの名称とロゴは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックス社の商標またはサービスマークです。FTSE Russellは、FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標です。ソフトバンクのMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるソフトバンクの後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

まとめ

1

最高益を目指す通期計画は順調に進捗

2

モバイル純増数が回復

3

PayPay 決済取扱高が拡大し、売上高大幅増

4

高いESG評価を獲得、初のESG債を発行



情報革命で人々を幸せに



The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank